

確認試験結果報告書（データベース登録用）

住 所

会社名

（第五類）

氏 名

印

物 品 名					
製造会社 又は 輸入会社	住所				Tel FAX
	名称				
組 成	全成分（化学名）及びそれぞれの含有率（重量%）				
状 態 (印)	固体 [塊状 ・ 粉粒状 ・ ペースト状 ・ その他 ()] 液体				
試験結果 (印)	熱分析試験	危険性 有 ・ 無			試験データは 別 添
	圧力容器試験	ランク	1 ・ 2 ・ 3		
総合判定 (印)	第一種自己反応性物質 第二種自己反応性物質 非危険物				
品 名	第五類 _____				
そ の 他	第三者への確認書の交付 (可 ・ 不可) 用途： 連絡担当者 Tel FAX				
備 考	S	F1	F2	D1	D2
登録番号					

(A 4)

注 1) 必要事項を記入し、該当する項目を で囲むこと。

注 2) 印の欄は記入しないこと。

試験名		熱分析試験			
試験実施日		年 月 日			
試験場所					
試験実施者					
試験条件		温度() 湿度(%)			
昇温速度		/min			
試験装置	名称 型式				
	炉内雰囲気				
標準物質の試験	物質名	2,4-ジニトロトルエン(DNT)		過酸化ベンゾイル(BPO)	
	純度				
	製造会社				
		発熱開始温度	発熱量	発熱開始温度	発熱量
	1回目		J/g		J/g
	2回目		J/g		J/g
	3回目		J/g		J/g
	4回目		J/g		J/g
	5回目		J/g		J/g
	平均値		J/g		J/g
試験物品の試験	試験物品名				
		発熱開始温度	発熱量		
	1回目		J/g		
	2回目		J/g		
	3回目		J/g		
	4回目		J/g		
	5回目		J/g		
平均値		J/g			
判定 (印)	危険性 (有・無)				

注1) 標準物質及び試験物品について5回を超える測定結果は別紙

注2) 判定に使用したグラフ(発熱量の常用対数値:補正温度の常用対数値)は別添

注3) 判定線上、又はそれより上部にある場合(危険性有)

判定線より下にある場合(危険性無)

試験名	圧力容器試験		
試験実施日	年 月 日		
試験場所			
試験実施者			
試験条件	温度() 湿度(%)		
破裂板の 破裂圧力	() × 10 ⁵ Pa		
昇温速度	/min		
試験物品名			
試 験 結 果	オリフィス 板の孔径	9.0 mm	1.0 mm
	1回目		
	2回目		
	3回目		
	4回目		
	5回目		
	6回目		
	7回目		
	8回目		
	9回目		
	10回目		
	破裂の回数	/ 10	/ 10
判定 (印)	ランク (1 ・ 2 ・ 3)		

注1) 10回を超える測定結果は別紙

注2) 10回の測定(孔径9.0mm)において破裂回数5回以上のもの……(ランク1)

10回の測定(孔径1.0mm)において破裂回数5回以上のもの……(ランク2)

10回の測定(孔径1.0mm)において破裂回数4回以下のもの……(ランク3)